

副産物情勢

1月16日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考		
内 臓	1.国産牛	○ 11月の成牛と畜頭数は、102.5千頭(前年比93.6%)と前年を下回った。 内訳を見ると、和牛:55.9千頭(前年比96.3%)、交雑牛:23.8千頭(同96.8%)、乳牛去勢:8.4千頭(同79.6%)となった。 ○ 12月の成牛と畜頭数は、速報値(12月31日まで集計)で99.4千頭(前年比99.1%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(12月24日公表)によると、12月の出荷頭数は、乳用種は減少するものの和牛および交雑種の増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測する。 1月は、交雑種が増加するものの、和牛および乳用種の減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する。(12月 104.9千頭(前年比104.1%)、1月 82.1千頭(同94.9%)) 3か月平均(11月～1月)では、出荷頭数96.1千頭(前年比96.9%)、生産量31.2千ト(同99.0%)と前年同期を下回る予測となっている。 ○ 需 給 動 向 : 赤物:全体的に引き合いは継続しており、と畜頭数が増加しても堅調な動きとなっている。 白物:需要期であるが期待していたほどの動きはなく、苦戦が続く見込みである。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg 価格改定年月日 牛内臓 豚内臓 令和3年4月 26日 25 5 令和3年10月 18日 35 7 令和4年2月7日 25 5 令和4年4月4日 35 7 令和4年8月8日 45 9 令和6年12月2日 48 9		
	2.国産豚	○ 11月の全国豚と畜頭数は、1,371千頭と前年を下回った。(前年比97.3%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道98.4%、東北99.3%、関東96.9%、北陸甲信越98.9%、東海94.7%、近畿95.2%、中四国98.8%、九州・沖縄96.3% ○ 12月の全国と畜頭数は、1,468千頭(速報値12月31日まで集計、前年比100.2%)と前年並みの見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は69,886頭(前年実績:73,208頭/日、前年差▲3,322頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;12月24日付け)によると、1月;1,338千頭(前年比95%)、2月;1,241千頭(同96%)、3月;1,396千頭(同103%)、4月:1,392千頭(同101%)、5月:1,179千頭(同91%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約97%と前年を下回る見込み。 ○ 需 給 動 向 : 赤物:と畜頭数増加に伴い供給量が増加しても、冷蔵商品は堅調な動きが継続している。 白物:需要期に入り動きが出ているものの北関東中心であり、首都圏での動きはやや鈍い状況である。	※乳牛45円/kg *豚正貫物 2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg 価格改定年月日 牛内臓 豚内臓 令和3年4月19日 25 3 令和3年10月 15日 35 4 令和4年2月1日 25 4 令和4年3月28日 35 4 令和4年8月1日 45 5 令和6年12月2日 48 5		
	3.輸入牛	○ 11月の輸入通関実績は、全体で38.7千トと前年を上回った。(前年比111.9%、前月比78.7%)。 内訳ではチルド:12.1千トン(前年比88.9%、前月比73.3%)、フローズン:26.6千ト(前年比126.9%、前月比81.5%)となった。 輸入相手国別では、チルドはカナダ、メキシコが増加した。フローズンは豪州、米国、カナダが増加した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、国内需要が低調な中、現地価格の高止まり等により、ほとんどの輸入先からの減少が見込まれることから、12月、1月ともに前年同月を下回ると予測する。フローズンは、豪州産のうち、主に加工用のひき材等に使用されるトリミングの増加が見込まれること等から、12月、1月ともに前年同月を上回ると予測する。3か月平均では、チルドは下回り、フローズンは上回ると見込んでいる。 令和7年12月 合計:41.1千ト(前年比104.8%)、チルド:13.7千ト(同85.7%)、フローズン:27.4千ト(同118.0%) 令和8年 1月 合計:34.5千ト(前年比106.0%)、チルド:12.3千ト(同92.1%)、フローズン:22.2千ト(同115.8%) ○ 輸入牛内臓実績(令和7年10月):牛腸(冷凍) :1,034ト(前年比74.5%・前月比86.2%) 国別実績;米国884ト、豪州90ト、他牛レバー(冷凍):64ト(前年比167.5%・前月比90.5%) 国別実績;米国23ト、豪州21ト、他	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 価格改定年月日 牛原皮(和牛) 豚原皮 令和元年7月22日 700 10 令和2年3月16日 500 10 令和2年6月15日 100 10 令和2年7月20日 100 2 令和2年9月28日 10 2 令和3年5月24日 10 10 令和5年10月16日 10 2		
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 7 年 11 月) : 31,906枚(前年比68.3%、前月比103.9%) 国別実績;タイ27,666枚(前年比65.7%)、韓国3,140枚(同105.5%)、フィリピン550枚(前年比32.9%)、インド550枚(前年なし) 輸出平均価格(令和7年11月):2,488円/枚(前年差▲166円、前月差+86円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 7 年 11 月) : 牛大判皮16,919枚(前年比61.3%、前月比146.1%)、ウェットブルー2,700枚※(同19.9%、同39.0%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和7年11月):牛大判皮6,179円/枚(前年差▲1,669円、前月差+22円)、ウェットブルー8,771円/枚(同▲352円、同▲2,325円) ○ 海 外 情 勢 : 昨年より流通価格は低位で推移している。また輸出枚数は前年を下回っている。 ○ 国 内 情 勢 : 輸出枚数減少に伴い、国内仕向けへの動きが出ている。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 価格改定年月日 牛原皮(和ヌキ) 豚原皮 令和元年8月15日 1,000 10 令和2年3月16日 800 10 令和2年6月22日 300 10 令和2年7月27日 300 2 令和2年9月28日 10 2 令和3年6月1日 10 10 令和5年10月23日 10 2		
	2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 7 年 11 月) : 919,040枚(前年比88.5%、前月比91.1%) 国別実績;タイ628,360枚(前年比77.9%)、ベトナム183,180枚(同324%)、カンボジア82,800枚(同77.7%)、韓国24,700枚(同58.4%) 輸出平均価格(令和7年11月):298円/枚(前年差▲44円、前月差▲3円) ○ 需 給 動 向 : 価格は引き続きドルベースでは過去最低水準で推移している。 現地タンナーとの交渉は苦戦が続き、好転する兆しは見えていない。			
レンダリング	1.油脂等	○ 国 産 食 用 加 工 油 脂 向 け 価 格 (1 月 渡 し) : 牛脂175円/kg(前年差+30円、前月差±0円)、豚脂175円/kg(同+30円、同±0円) 牛脂、豚脂ともに需給は引き締まって推移しているが、このところ動物油脂価格は飼料用油脂(YG)価格に連動する流れとなっており、1～3月のYG価格が据え置きとなったことに追随し、価格に変更はなかった。 ○ マ レ ー シ ア 産 パ ー ム 油 相 場 (12 月) : 191円/kg(前年差▲25円、前月差▲33円) 11月生産量は193万トン(前月比94.7%)、輸出量は121万トン(同71.9%)、月末在庫は283万トン(同113%)となった。 当初、減産期が前倒しするという見方もあったが、その予想を覆し、好調な生産が続いたことが先物相場の上値を抑える要因となった。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (12 月) : 144円/kg(前年差+30円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (12 月) : 125円/kg(前年差+30円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(12月):153円～156円/kg程度(前年差+30円、前月差±0円)	5. 食用加工油脂価格 単位:円/kg 価格改定年月日 牛脂 豚脂 令和5年4月1日 165 175 令和5年7月1日 155 165 令和5年10月1日 145 155 令和6年7月1日 145 145 令和7年2月1日 155 155 令和7年7月1日 165 165 令和7年10月1日 175 175		